

日本アメリカ史学会第9回（通算37回）年次大会プログラム

9 月 22 (土)	12:00~13:00	幹事会 別館1階 歴史共同会議室
	13:00~	受付開始 本館正面 一階入り口
	14:00~ 17:30	シンポジウムA 「アメリカ例外論再考」 31番教室 報告： 藤永康政（山口大学） 「公民権運動とブラック・インターナショナルリズム」 大津留（北川）智恵子（関西大学） 「内政と外交の接点から例外主義を考える」 古矢旬（北海商科大学） 「否定的例外主義と肯定的例外主義のはざまで」 コメント 青野利彦（一橋大学） 金井光太郎（東京外国語大学） 司会： 中條献（桜美林大学）
	17:35~ 18:30	総会 31番教室
18:30~ 20:30	懇親会 マーキュリータワー7階 マーキュリーホール	
9 月 23 (日)	9:30~12:00	自由論題 32番教室, 33番教室 <hr/> セッションA 3 2 番 教 室 9:30 ~10:05 日黒志帆美（東北大学・院） 「19世紀ハワイ国王によるフラ政策—規制と奨励に見られるポリティクス」 10:05 ~10:40 丸山雄生（一橋大学・院） 「未完のローズヴェルト・メモリアル—革新主義と自然・動物の表象」 10:50 ~11:25 繁沢教子（広島市立大学・院） 「ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』—放射線の影響に関する記述を検証して」 11:25 ~12:00 栗原涼子（東海大学） 「ニューヨークの女性解放運動とラディカルフェミニズムの理論形成をめぐって」 司会： 菅美弥（東京学芸大学） <hr/> セッションB 3 3 番 教 室 9:30 ~10:05 藤原郁郎（大阪大学・院） 「アメリカ帝国主義の成立—スペインからの宗主権奪取とアギナルドの乱」 10:05 ~10:40 高光佳絵（千葉大学） 「戦間期アメリカのアジア・太平洋秩序の模索とIPR（太平洋問題調査会） — ‘political missionary’ としてのエドワード・カーターを中心に」 10:50 ~11:25 藤岡真樹（京都大学・院） 「冷戦初期の合衆国の学術世界におけるソ連研究の再編」 11:25 ~12:00 貫井万里（早稲田大学） 「アメリカの対イラン政策と1953年8月クーデター事件」 司会： 伊藤裕子（亜細亜大学）
	13:00~ 16:00	シンポジウムB 「シティズンシップと人種—国民国家と帝国のあいだ」 34番教室 報告： 高佐智美（青山学院大学） 「subjectからcitizenへ—革命期におけるシティズンシップの意義と限界」 貴堂嘉之（一橋大学） 「移民国家アメリカのシティズンシップ再考—「長い19世紀」のヒトの移動のグローバル・ヒストリーから」 松本悠子（中央大学） 「racism と racism—第一次大戦から1920年代のアメリカとフランスのシティズンシップ」 コメント： 庄司啓一（城西大学） 司会： 戸田山祐（東京大学・院）
	13:00~ 16:00	シンポジウムC 「同性愛/同性婚を通して見るアメリカ—1950年代から現在まで」 32番教室 報告： 兼子歩（長野県立短期大学） 「1950年代のホモフォビアと『マスキュリニティの危機』」 中野聡（一橋大学） 「アラン・スピアから考えるアメリカ政治とセクシュアリティ」 吉原令子（日本大学） 「同性婚をめぐるフェミニストのジレンマ」 コメント： 松原宏之（横浜国立大学） 司会： 坂下史子（関西外国語大学）